

エコアイランド宮古島



宮 古島市は、平成20年3月に“エコアイランド宮古島宣言”を行い、さまざまな環境保全の推進、再生可能エネルギーの導入による循環型社会の構築など、美しい自然と共にすべての生物が共存できる環境づくりのための活動を行っています。

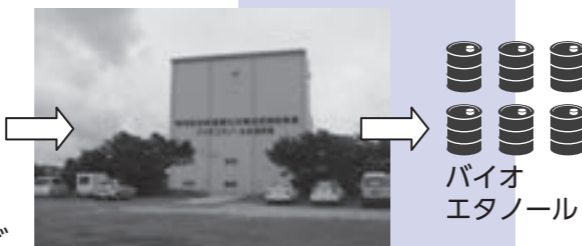
津 山市でも「自然豊かな環境共生都市」を目指して、自然環境保全の推進などに取り組んでいます。

取り組みの一つとして、6月の環境月間に合わせて毎年、「親子エコフェスタ」を開催しています。このイベントは、地球温暖化など、世界規模の環境問題に対する身近な取り組みなどを紹介していて、体験もできます。

10回目を迎える今年は「宮古島市との姉妹都市縁組50周年記念事業」として、宮古島の取り組みを紹介します。ライフスタイルやビジネススタイルを見直すきっかけにしてみませんか。



南国のさわやかな風を利用した風力発電設備



サトウキビを活用した、自動車などの燃料にもなるバイオエタノールを生産する工場



サトウキビ



バイオエタノール



宮古本島と池間島を結ぶ池間大橋は、その美しい景観から、宮古島の観光スポットとなっています

写真提供：宮古島市

親子エコフェスタ2014

とき 6月8日(日)10:30~15:00
ところ アルネ・津山、中心商店街
内容 宮古島市の環境問題への取り組みを紹介するパネル展、電気自動車の展示、エコ商品・エコ活動の紹介、環境絵馬展、グリーンカーテン講習会、みゅーじかる劇団「きんちゃん座」ステージ、クイズラリーなど

きらめく津山人

岡山県高等学校野球連盟 審判員 庄司 睦さん(中北下)



高校野球に関わっていききたい

今春、阪神甲子園球場で開催された第86回選抜高等学校野球大会(以下「選抜大会」)に、中国ブロック代表の審判員として参加した庄司さんにお話を伺いました。

審判員を始めたきっかけは?
 中学・高校生の時は、野球部に所属していました。社会人になっても高校野球に関わりたいたいと思い、高校卒業後、岡山県高等学校野球連盟(県高野連)の審判員講習を受けて、審判員になりました。

最初は、練習試合などで経験を重ねて、20歳の時、初めて、秋季県北リーグ戦で審判をすることができました。その時は、とてもうれしかったです。

選抜大会に参加した感想は?
 今回、全国8ブロックから1人ずつ選ばれる派遣審判員に選ばれたのは、とても光栄なことでしたし、勉強になりました。

選抜大会では、大会初日の第2試合など、3試合に塁審として参加しました。やはり大きな大会ですし、甲子園球場は独特の雰囲気があり、最初の判定を下すまでは、気持ちが悪く落ち着きませんでした。

また、今大会は岡山県から出場した野球部がいなかったことで「わたしが岡山県を代表している」という思いもありました。

日頃はどんな活動をしていますか?
 県内や中国地区で行われる公式戦と県北で行われる練習試合などで審判をしています。年間で約百試合に参加しているのですが、休日のほとんどは、野球場にいます。忙しいですが、球児から感謝の言葉をもらったり、やっていてよかったと思います。1つの

審判中に気を付けていることは?
 高校野球は、教育の一環なので、球児の模範となるよう、毅然とした態度で試合に臨むようにしています。判定以外にも、立ち振る舞いや視線などにも気を付けています。



選抜大会で塁審を務める庄司さん

試合中の庄司さんは、背筋がピンと伸び、真剣な表情で判定を下します。インタビュー中の庄司さんは、グラウンドで見せる厳しい様子とは違い、明るい笑顔が印象的でした。

今後の目標は、何ですか?
 まずは、県北地域で活動する県高野連の審判員を増やしたいですね。また、審判の技術を磨き、県北の野球の質を、より一層上げることができればいいなと思っています。

そして、ぜひ県北・津山から甲子園の全国大会に出場する高校が出てきてもらいたいですね。

判定で試合の流れが大きく変わることもあるので、気が抜けません。また、試合時間が2時間以上掛かるので、体力づくりや体調管理も大切だと思っています。